

## 東播磨圏域（兵庫県） 総合水産基盤整備事業計画

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ①圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

本圏域は、播磨灘北東部に位置し、沿海には明石市、播磨町、加古川市、高砂市の3市1町が位置している。

本圏域の漁協は、平成16年には14漁協であったが、合併への取組が進められた結果、現在は、明石市に5漁協、播磨町及び加古川市に各1漁協、高砂市に2漁協で9漁協となっている。

##### ②主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

本圏域では小型底びき網、機船船びき網、釣り漁業など多種多様な漁船漁業と、ノリ養殖業が営まれており、令和元年の漁船漁業の生産量は3,668トン、ノリ養殖業の生産量は25,488トンである。

#### 【主要漁業種類の漁獲量】 (単位：t)

	H26 (ノリ養殖:H25 漁期)	R1
小型底びき網漁業	1,998	608
機船船びき網漁業	2,783	1,638
釣り漁業	418	281
その他漁業	373	391
漁船漁業計	5,572	3,668
ノリ養殖※	21,577	25,488

出典 H26は、漁船漁業：兵庫県水産業の動き ノリ養殖：共販資料 ※37.5kg/千枚で換算  
R1は、漁港の港勢調査属地陸揚量と港湾の該当漁協報告書水揚量の合計

#### 【主要魚種の漁獲量】 (単位：t)

	H26	R1
シラス	1,413	1,586
イカナゴ	1,525	39
スズキ類	72	20
タコ類	1,171	188
タイ類	296	167

出典 H26は、漁船漁業：兵庫県水産業の動き  
R1は、漁港の港勢調査属地陸揚量と港湾の該当漁協報告書水揚量(不明分は未計上)の合計

本県漁船漁業の漁獲量(R1年)は40,912トン(農林水産統計)、ノリ養殖生産量(R1暦年)は53,093トン(農林水産統計)であり、本圏域のシェアは漁船漁業：9.0%ノリ養殖：48.0%である。またR1年統計値において本県は、シラスが全国1位、ク

ロダイ、スズキ類、タコ類、ノリが全国2位の生産量を誇っているが、本圏域の県内シェアはシラス：10.9%、タイ類：10.2%、スズキ類：4.2%、タコ類：14.7%、ノリ：48.0%となっている。

#### <近年の資源動向>

##### ・機船船びき網漁業漁獲対象種（シラス・イカナゴ）

シラスは瀬戸内海における再生産と、春期に太平洋から来遊するシラスによって形成され、年変動が大きい。近年の資源動向は横ばいである。また、イカナゴは明石海峡周辺の再生産によって形成され、シラスと同様に年変動が大きい。近年、栄養塩濃度の低下等により資源動向は減少が著しく、生産量はごく少なくなった。

##### ・機船船びき網漁業以外の漁獲対象種（タイ類、タチウオ、スズキ類、ヒラメ・カレイ類、タコ類等）

マダイについては種苗放流等の効果もあいまって高位を保っている。ヒラメは種苗放流を実施しているが増減しながら横ばいで推移している。その他の魚種について、サワラの資源量は増加傾向であるものの、主な漁業種類である小型底びき網、刺網、釣り漁業の近年の漁獲量はいずれも減少傾向で推移していることから、これらの漁業によって漁獲される魚種の資源動向についても多くが減少傾向であると類推される。

(参考)

小型底びき網漁業の主要漁獲対象種：マダイ、ヒラメ、カレイ類、甲殻類、タコ類

刺網漁業の主要漁獲対象種：スズキ類、カレイ類、マダイ、タコ類、イカ類

釣り漁業の主要漁獲対象種：マダイ、アジ類、タチウオ

#### <資源管理措置>

##### ・機船船びき網漁業

イカナゴ漁期は毎週日曜を、シラス漁期は毎週水、日曜を休漁日とする資源回復計画を策定している。また、網下ろし・網揚げ日を統一し、漁獲動向に応じて休出漁を決定している。なお、イカナゴについては翌年度の資源量を確保するため、研究機関の調査結果に基づいた網揚げ日の決定を行っている。

##### ・機船船びき網漁業以外

本圏域内の小型底びき網、釣り、たこつぼ、五智網、刺網漁業について漁協単位で休漁を主とする資源回復計画が策定されている。

【東播磨圏域内で策定されている資源管理計画】

漁業種類	漁協名	主な資源管理措置
小型底びき網	明石浦、林崎、江井ヶ島、東二見	休漁日の設定、小型魚の再放流
釣り漁業	明石浦、播磨町	休漁日の設定、小型魚の再放流
たこつぼ	林崎、江井ヶ島	休漁日の設定
五智網	明石浦、東二見、西二見	休漁日の設定、小型魚の再放流
刺網	江井ヶ島	休漁日の設定、小型魚の再放流

〈つくり育てる漁業の取組み〉

マダイ、ヒラメ、マコガレイ、キジハタ、クマエビ、ガザミ、クロアワビ、サザエ、マナマコの間育成及び放流を実施する。

(※キジハタ、ガザミ、クロアワビ、サザエ、マナマコは直放)

また、アサリ種苗が生産され、試験養殖が行われている。

③水産物の流通・加工の状況

- ・機船船びき網漁業漁獲対象種（シラス・イカナゴ）

シラスは主に本圏域内の加工場に出荷され、釜揚げやシラス干しに加工後、卸売市場を経由して広く京阪神地域に流通している。イカナゴ新仔は釘煮材料として、神戸、明石地域の小売店に鮮魚で流通するものと、シラスと同様に圏域内の加工場に出荷され、釘煮や釜揚げに加工後、京阪神地域に流通するものがある。

- ・機船船びき網漁業以外の漁獲対象種

機船船びき網漁業以外の漁獲対象種は、概ね以下の流通形態となっている。

- i) 明石港、林崎漁港、古宮漁港、東播磨港（高砂・伊保）に所在する産地市場  
→圏域内及び近郊の小売店等
- ii) 上記産地市場→卸売市場→京阪神地域の小売店等
- iii) 卸売市場（明石市、加古川市、姫路市）に漁業者が直接搬入→京阪神地域の小売店等

なお、タコ類については、一部兵庫県漁連が浜値維持のため買受人となり、妻鹿漁港に所在する加工流通センターで加工後、広く京阪神地域に流通するものがある。

④養殖業の状況

- ・ノリ養殖業

陸揚されたノリは、漁業者自らが乾ノリ（板ノリ）に加工し、ほぼ全てが兵庫県漁連の共販にかけられ、商社を経て主にコンビニエンスストアのおにぎり用などの

業務用として全国に流通している。

圏域内漁港・港湾における令和元年ノリ養殖業陸揚量 (トン)	
明石港	4,651 トン
林崎	13,187 トン
江井ヶ島港	1,738 トン
魚住	464 トン
東播磨港	5,986 トン
古宮	218 トン
合計	26,244 トン

#### ⑤漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

	経営体数		漁業就業者数		
	H25	H30		H25	H30
個人	490 体	405 体	男	1,086 人	824 人
団体	175 体	119 体	うち 65 歳以上准	322 人	280 人
計	684 体	524 体	計	1,089 人	834 人

出典：漁業センサス

本圏域内の漁業経営体数、漁業就業者ともに減少傾向にあり、魚価の低迷や燃油の高騰など水産業を取り巻く情勢は厳しいが、隣接圏域では横ばい～回復の兆しもあり、当圏域でも漁業の担い手確保が回復に転ずることが期待される。

#### ⑥水産業の発展のための取り組み

本圏域では、ノリ養殖の色落ちや漁船漁業の生産低下に対して海底耕うんやため池の「かいぼり（池干し）」、植樹活動、二枚貝類の放流や下水道栄養塩管理運転など「豊かな漁場の再生」を目指した取組を継続している。

また、明石市域では、地域団体商標により「明石鯛」の登録を取得し、全漁連主催の「Fish1 グランプリ」に兵庫県代表として参加するなど更なるブランド化の取組を実施しているほか、J A兵庫の大型直販所やショッピングモールに漁協の小売店を構え、地元エリアでの「明石の魚」の浸透を図っている。

#### ⑦水産基盤整備に関する課題

本圏域の各漁港では一定水準の整備が完了しており、今後は既存施設の適正な維持管理と有効活用が重要となる。また、地震・津波発生時の被害軽減と漁業活動の早期再開を図るため、既存の防波堤や岸壁等の機能強化が必要である。

漁場においては、本圏域は、明石市地先以外は東播磨港の港域であり、大規模な沿岸開発によって水産資源にとって重要な浅海域や自然海岸が減少している。また

明石市地先も海上交通安全法上の明石海峡航路に指定されており、水産環境整備を行える水域が限られている上に、栄養塩不足等による海域環境の悪化により、海域の生産力の低下が問題となっている。

#### ⑧将来的な漁港機能の集約化

本圏域内の漁港において漁船数は減少しているものの、漁船の岸壁利用状況が変動した結果、充足率に変動は無い。今後も漁船数は減少する傾向にあることから、充足率は横ばいまたは上昇傾向にあると予測され、係留施設の新たな整備をする必要性は低い状況にある。

漁港内の余剰水域、用地の需要を見据え、漁港機能の集約化も含め活用方法を検討していく。

本圏域における係留施設利用（港勢を基に算出）			
	H22	R1	R22-R1
利用漁船数	448 隻	393 隻	55 隻減
充足率※	63%	63%	増減無

※充足率（%）＝（所要延長－不足延長）/所要延長×100

不足延長＝所要延長－現有延長

所要延長：利用漁船が陸揚・準備・休けい目的に必要なとする係留施設の延長

現有延長：漁港が現在保有している係留施設の延長

#### (2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	生産力向上型	設定理由；沿岸部の天然資源を活用し、水産物の生産、供給の強化を図っている。
② 圏域範囲	兵庫県明石市以西高砂市までの播磨灘一帯	設定理由；漁業操業及び漁業調整等において圏域一帯を活動範囲とする漁業組織がある。
③ 流通拠点漁港	該当なし	—
④ 生産拠点漁港	林崎漁港 魚住漁港 古宮漁港	設定理由；陸揚金額、陸揚量が生産拠点の要件を満たしている。 本圏域における船びき網漁業およびノリ養殖業の生産、供給の拠点として中核的な役割を担っている。
⑤ 流通・輸出拠点漁港	該当なし	—

(令和元年)			
圏域の属地陸揚量	29,156 ト	圏域の登録漁船隻数	1,024 隻
圏域の総漁港数	6 漁港 3 港湾	圏域内での輸出取扱量	-
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	3 港湾		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	東播磨ノリ養殖地区		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	ノリ		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種（収穫量）（ト）	26,244 ト		

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

本圏域では、陸揚岸壁や荷捌き所がこれまでに整備されている。船びき網漁業では陸揚岸壁を活用し陸揚し、直ちにセリにかけ（または相対取引によりセリを経ず）、買受人の保冷車に積み込む仕組みができており、漁港内の滞留時間を数分程度に留め高鮮度出荷に取り組んでいる。船びき網漁業以外の漁獲物は、荷捌き所内の活魚水槽を利用し、主に活魚出荷されており、明石鯛や明石だことしてブランド化・付加価値向上に努めている。以上のとおり、既存施設を利用した品質・付加価値向上の取組が行われており、今後も既存施設を有効活用し取組を推進していく。

また、漁業従事者の減少傾向、陸揚量・金額が低迷する中で、水産物の安定的な生産体制の確保が課題となる。そのため、安定した漁業活動が可能となるような漁港整備を推進し、生産コストの縮減を図る。

#### ② 養殖生産拠点の形成

本圏域では、ノリ養殖業が盛んで県内で屈指の生産地として拠点を形成している。県域の中で林崎漁協が生産する「明石のり」は認知度が低く、業務用として流通しているため、単価が抑えられる傾向にある。

ノリ養殖における所得の向上を図るため、消費者から指名を受けられるような特質をもつノリづくりが求められていることから、PR 活動を行い、消費拡大をすることで単価を上昇させる。

## (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

### ①環境変化に適応した漁場生産力の強化

本圏域は、大規模な沿岸開発が行われている圏域でありながら、漁船漁業により年間約3,700 tの生産量をあげている。これは明石海峡の影響を受けるエリアが、複雑な潮流とその潮流により形成される起伏に富んだ海底地形を有し、藻場や岩場が点在するなど水産生物の産卵や育成、生息場所として適していることによるが、近年は栄養塩不足等による海域環境の悪化により、海域の生産力の低下が問題となっている。水産環境整備を行える水域が限られるため新たな整備予定はないが、既設増殖場への種苗放流や国などが実施する河川土砂を用いた環境改善の誘導、かいぼり等の栄養塩管理と連携した水産多面的機能発揮対策による海底耕うん等の浅場の保全活動等を行うなど、既存ストックを最大限に活かし、海域の生産力向上を図る。

なお、漁場環境観測システム等を活用して水温、塩分、栄養塩類等をモニタリングし、海域の環境変化等を的確に把握するとともに、関係者への情報発信を図る。

### ②災害リスクへの対応力強化

東南海・南海同時地震や南海トラフ巨大地震による地震動ならびに津波来襲に備え、漁業地域の安全対策を図り、被災しても漁業活動の早期再開ができるよう地震・津波対策に取り組む必要がある。

本圏域の生産拠点漁港である林崎漁港は、養殖ノリの陸揚加工拠点であるとともに、京阪神地区の大消費地までの距離が近い地の利を活かした沿岸漁業の陸揚拠点であり、重要な水産物供給の役割を担っており、漁業活動の基盤として果たす役割は大きく、漁港施設の老朽化対策がますます重要な課題となる。

## (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

### ①「海業」による漁村の活性化

漁船漁業とノリ養殖業が主な収入源となっているが、魚介類の単価が下落傾向にあり、漁獲量の減少と相まって地域の漁業者は極めて厳しい経営を強いられている。

浜プランにおいて、ノリ生産量及び生産額の増大、魚価の向上、魚食文化の普及啓発に取り組むこととしており、PR活動や近隣の学校に水産物の提供及び出前授業を実施等、魚食普及による消費拡大により「海業」による地域の活性化を図る。

### ②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地域の水産業を支える多様な担い手が活躍できるよう、漁業研修を充実し新規漁業就業者の確保を図る。

### 3. 目標達成のための具体的な施策

#### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

##### ① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
林崎	流通基盤強化	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	林崎漁港	2種	
魚住	流通基盤強化	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	魚住漁港	1種	
古宮	流通基盤強化	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	古宮漁港	1種	

機能増進事業を活用し、小規模な対策による流通基盤強化を行う。

##### ② 養殖生産拠点の形成

補助事業等の活用を検討し対策を行う。

#### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

##### ① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
明石市、播磨町、加古川市、高砂市	環境改善	水産多面的機能発揮対策

栄養塩管理と連携し、水産多面的機能発揮対策による浅場の海底耕うん等の保全活動により、海域の生産力向上を図る。

##### ③ 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
林崎	予防保全	水産物供給基盤保全事業	林崎漁港	2種	
魚住	予防保全	水産物供給基盤保全事業	魚住漁港	1種	
古宮	予防保全	水産物供給基盤保全事業	古宮漁港	1種	



林崎	予防保全	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	林崎漁港	2種	
魚住	予防保全	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	魚住漁港	1種	
古宮	予防保全	(水産業競争力強化) 漁港機能増進事業	古宮漁港	1種	

機能保全計画に基づき、水産物供給基盤保全事業、漁港機能増進事業を活用し、計画的に老朽化対策を行う事で災害リスクへの対応を図る。

### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「海業」による漁村の活性化

農林漁業者と食品産業、商工業、医療、福祉、観光など様々な分野の事業者、大学などの研究者が交流・連携し県産農林水産物を活用した新たな商品、サービスの開発や独創的な活動を支援する「農イノベーションひょうご」に参画し、異業種との交流に取り組み、水産物を通じて漁村の活性化を図る。

その他、補助事業等による漁業者への支援を行い、「海業」による地域の活性化を図る。

#### ② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

幅広い視野を持った将来の水産業界をリードしていく人材育成を行うことを目的とする「大輪田塾」の活用や研修等の開催により、水産業の中核的担い手を養成する。

その他、補助事業等を活用し、漁業者への支援を行い、新規に漁業参入を促す等地域の活性化を図る。

## 4. 環境への配慮事項

本圏域では播磨灘に面した良好な砂浜を有する半自然海岸が残されている。その前面海域ではアマモ場が現存しており、貴重な幼稚仔魚の生育場となっている。本計画内ではこれを悪化させるような施設整備は計画されていないが、将来にわたりこの環境が維持されるように努める。

5. 水産物流通圏域図

別添のとおり

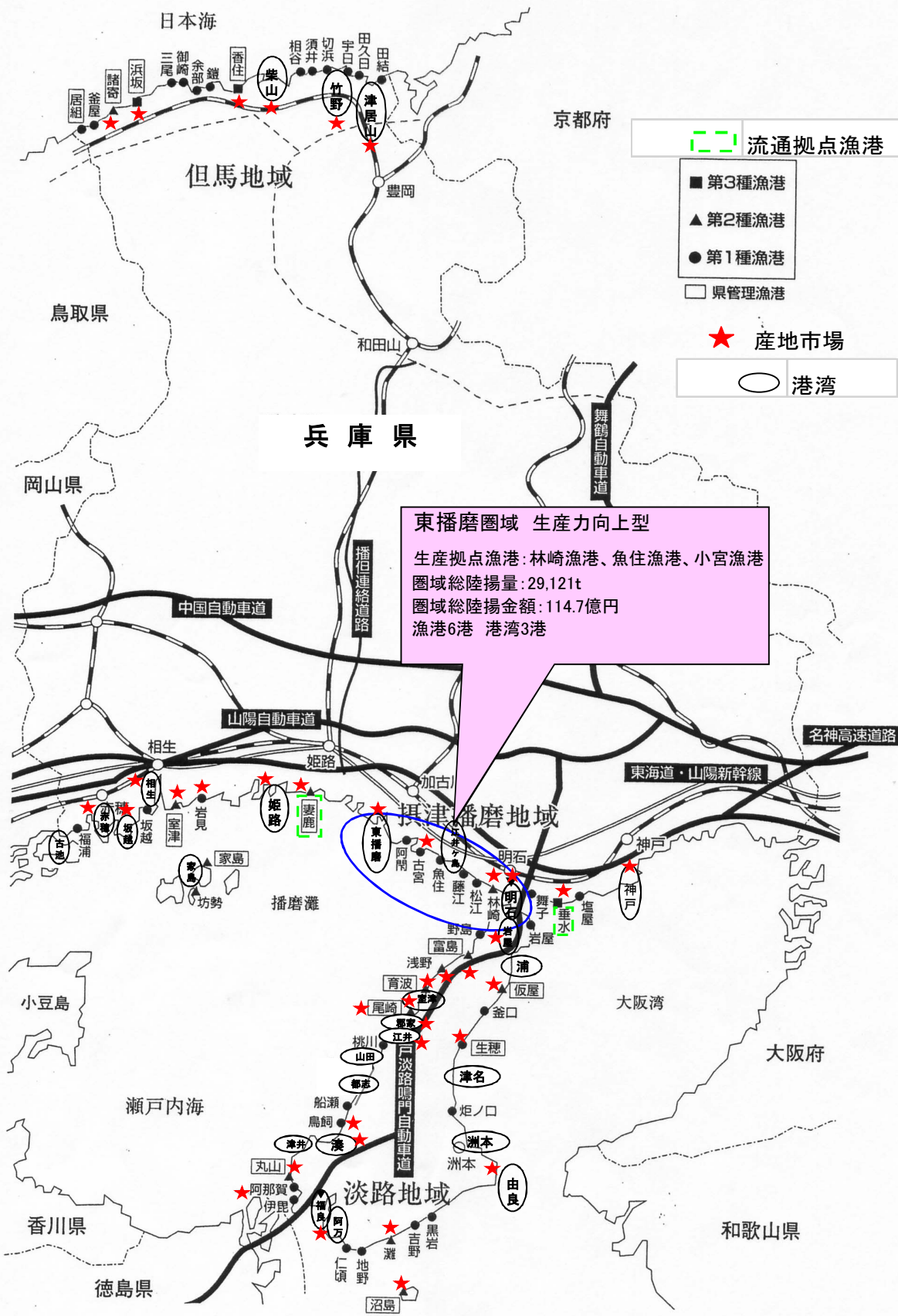
6. 当該圏域を含む養殖生産拠点地域図

別添のとおり

7. 漁港ごとの役割や機能分担及び漁港間での連携の状況を示す資料

別添のとおり

# 兵庫県水産物流通圏域図



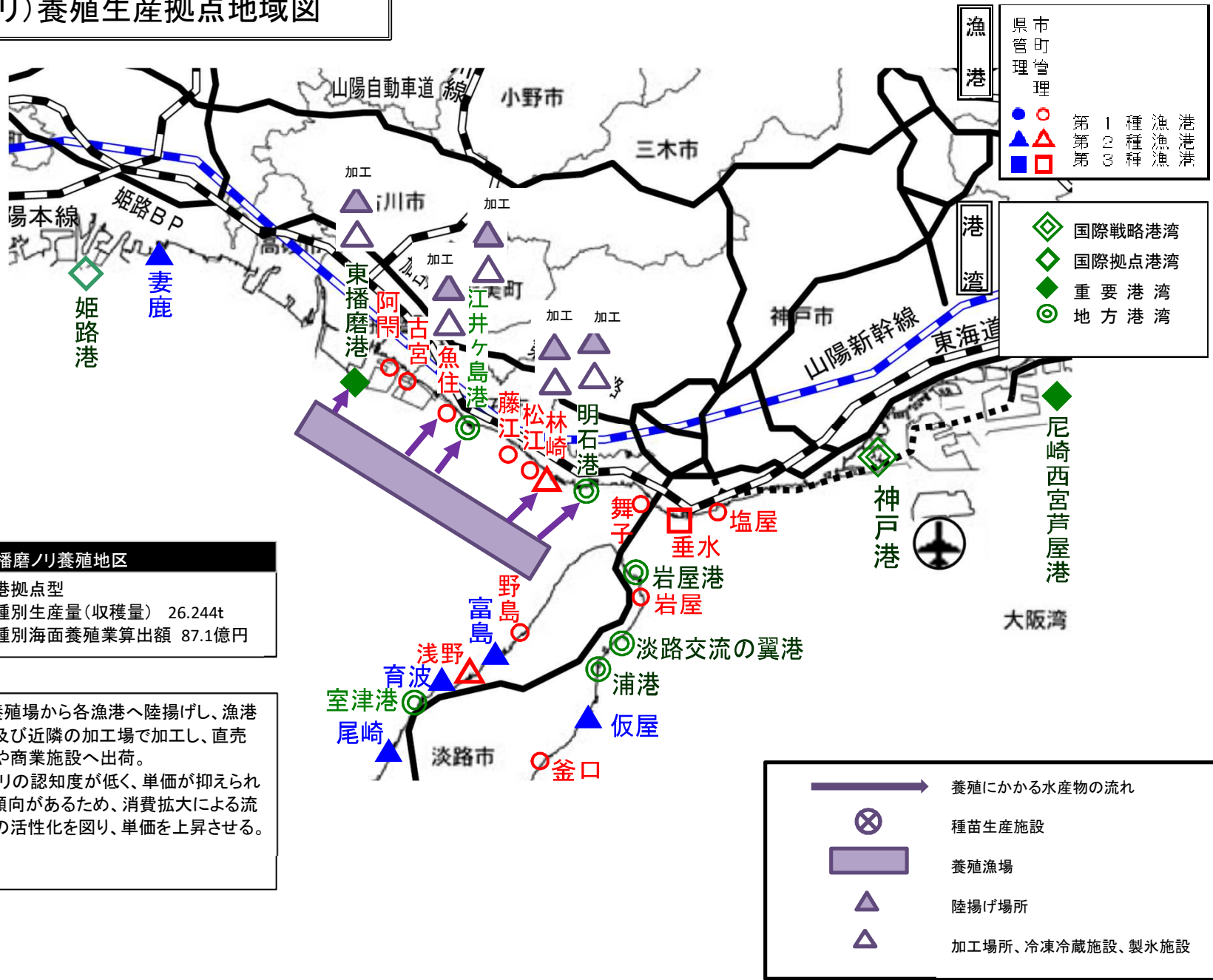
	流通拠点漁港
	第3種漁港
	第2種漁港
	第1種漁港
	県管理漁港
	産地市場
	港湾

**東播磨圏域 生産力向上型**  
 生産拠点漁港: 林崎漁港、魚住漁港、小宮漁港  
 圏域総陸揚量: 29,121t  
 圏域総陸揚金額: 114.7億円  
 漁港6港 港湾3港

# 東播磨(ノリ)養殖生産拠点地域図

**東播磨ノリ養殖地区**  
 漁港拠点型  
 魚種別生産量(収穫量) 26.244t  
 魚種別海面養殖業算出額 87.1億円

養殖場から各漁港へ陸揚げし、漁港内及び近隣の加工場で加工し、直売所や商業施設へ出荷。  
 ノリの認知度が低く、単価が抑えられる傾向があるため、消費拡大による流通の活性化を図り、単価を上昇させる。



兵庫県 東播磨圏域図 (機能の連携図)

圏域総陸揚量：29,121 t

圏域総陸揚金額：114.3 億円

漁港：6 港 港湾3 港



(拠点漁港)

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- : 一般漁港

(役割・機能)

※現在の機能は黒字で記載。

将来、付加される機能は赤字実線、失われる機能は赤字点線とする。

集	集・出荷機能
休	休憩機能
準	準備機能
避	避難機能
生	生活基礎確保機能
地	地元漁業生産機能
増	増養増産強化機能
輸	水産物輸出機能
海	海業振興機能 (交流・観光・6次産業)
防	防災・減災機能
●●	その他 (漁港管理者等自由設定)

◆ : 港湾  
☆ : 産地市場